

Advanced 南薩 一学期 学校訪問 特集号

一学期、9校の学校を訪問させていただきました。訪問させていただいた学校では、それぞれに特色ある教育活動を推進されており、確かな成果を上げられていました。今回は、他校でも是非生かしてほしい取組について紹介させていただきます。

久木野小学校



「再編」を意識した学習過程
話し合い、学び合いの場を授業の中に積極的に設定。



エバーカルデアの授業づくり
授業の見通し、分かりやすい指示・説明、話し方の工夫などの支援を授業で実施。

表現の場の設定

授業の中で、自分の考えを表現する場を設定し説明する力を育成。



学校訪問まとめ【学力向上】

学校全体や一人一人の学力・学習状況等の課題が的確に把握され、その解決に当たって、どの学校でも職員一丸となった取組がなされていました。発表ボードやICTを活用した言語活動への取組、めあてとまとめの板書、チャイム前着席や静思など、授業を通して具体的な取組の様子が見られました。

6月にもなると、それまでの成果とともに、課題解決に向けた取組がなかなか前に進まない状況もみられました。その状況を打開するためには、再検討し修正していくことこそ肝心です。学力向上対策委員会等で、随時、取組の進捗状況を把握されている学校もありました。一つ一つの実践を徹底して確実なものにしなければ、実効力あるものにはなりません。

各学校とも一学期を終え、成果とともに、今後取り組むべき課題がはっきりと見えてきていることと思います。その反省を生かして、一段と確かな取組が推進されることを期待するとともに2学期の訪問を楽しみにしています。



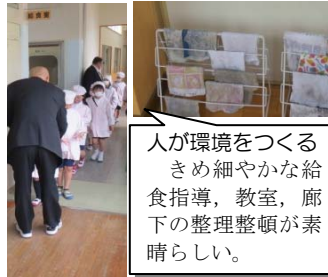
発表ボードの活用
自分の考えやグループの意見をまとめ、表現するために簡易発表ボードを活用。

一人一人が活躍の場設定

自分の考えの発表など児童一人一人が活躍する場を設定。



松山小学校



人が環境をつくる
きめ細やかな給食指導、教室、廊下の整理整頓が素晴らしい。

高田小学校



15の共通実践事項に基づく授業
基礎的・基本的内容の確実な定着を目指し授業を実施。

「読み取る力」を育む
学習指導過程の工夫、読みの方を学ばせる指導法を工夫し、「読み取る力」を育成。



環境が人をつくる
児童の意欲を高めるように資料等が掲示してあるなど学習環境が整備されている。

学校訪問まとめ【生徒指導】

【いじめへの積極的な対応】

いじめの認知があった学校では、全校態勢による共通理解の下、適切な対応がなされています。また、実態を全職員で把握するための共通理解の場を設定したり、養護教諭と連携を図ったりする等の未然防止に積極的に取り組んでいます。

【不登校への対応】

不登校傾向の児童生徒への迅速な対応、職員間の連携など不登校の改善に向けた積極的な取組がなされていました。

【アンケートによる実態把握】

月1回のアンケートに基づき、的確な実態が把握され、対応策が講じられていました。



ICTの効果的な活用
確かな学力の定着を図るためにICTを効果的・積極的に活用。

特別支援教育支援員との連携
充実した支援員の配置を生かし、実態に応じたきめ細かな指導を実施。



田布施小学校



金峰コシヒカリ栽培
金峰コシヒカリの栽培を通して地域との連携が充実。

山川小学校

実態に応じた教材の作成
児童の関心を引き出す
教材教具の活用。



共通実践事項で学力向上

学習進行表、学習過程の短冊の黒板への掲示、学んだこと振り返れる掲示設営などの学力向上を図る共通実践事項の設定。

学び合いの活動

実験を通じた学習を展開すると自然とこのような学び合いが生まれます。



今後の改善に向けて

【基本的な生活習慣の確立】

基本的な生活習慣を確立させるためにアンケートを活用し改善を図ることは有効だが、結果だけを見る等評価のためのアンケートにならないようにする。

【小中高の接続】

不登校、問題行動等は、小・中・高のつながりが大切。

【いじめの継続的な見届け】

いじめ被害にあった児童生徒は、卒業するまで守り抜く気持ちで対応し、上級学校へつなぐ。

【いじめ対策推進法について】

いじめ対策推進法に係る対応は、どの学校もなされているが、実際を想定した対応が図れるようにする。

基礎・基本の定着に向けて

基礎・基本の定着を意識した毎時間の取組、漢字スキルの音読の様子。



ゲーム感覚を取り入れた活動

〇〇に関する言葉を先生と同じにならないように考えます。



栗ヶ窪小学校



整然とした学習環境

少人数ならではの工夫がなされています。

立神小学校



ICTの積極的な活用

学習効果が高まる効率的・能率的な指導形態の工夫。



EPA-カゲザイを踏まえて

時間、場の構造化、刺激量の調節、ルールの明確化、チョークの色、考えのつながりを意識した板書の工夫などを意識して授業を展開。

少人数指導の推進

児童の実態に応じた少人数指導の推進。



給食指導の充実

給食指導も充実した取組がなされていました。

学び合い・練り合いの工夫

間接指導を充実させるなど、学び合い、練り上げていく学習過程を工夫。



複式学級のよさを生かす

交流活動（教科学習における異学年のパディシステム）
上学年の児童が先生役。



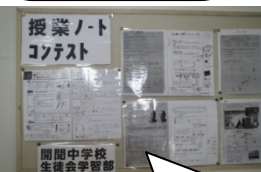
小湊小学校



夢を育む教育の具体化

「わが家の家訓」「わたしの夢」の提示（学校の玄関）。

開聞中学校

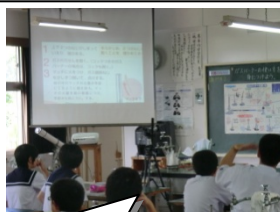


生徒会主催授業ノートコンテスト

生徒の学習意欲の向上が期待されます。

OHCを活用した授業改善

学力の向上を図るために、全ての教科の授業において、OHCを活用し授業を改善。生徒へも利用をさせ表現力を育成。



ビデオカメラの活用

OHCがなくても、工夫することで、効果的に資料を提示できます。
※ OHC：オーバーヘッド（書画）カメラ

学校訪問まとめ【社会教育】

○ 訪問した学校のほとんどで地域が学校に対して協力的であるという説明がありました。地域の教育力の高さを感じました。その地域の教育力を「学校応援団」の事業にうまく結び付け、「地域の中の学校づくり」に生かしてほしいと思います。

☆ 11月1日～7日は、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」です。地域住民と学校をつなぐ絶好の機会です。

各学校で、積極的な取組をお願いします。